



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 ペットゴー株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7140 URL <https://corp.petgo.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 黒澤 弘  
問合せ先責任者（役職名） 取締役経営企画部長（氏名） 佐藤 建史（MAIL） [ir@petgo.co.jp](mailto:ir@petgo.co.jp)  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有（投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	4,536	△10.2	90	△55.2	84	△57.1	53	△61.4
2024年3月期中間期	5,052	1.0	200	3.3	197	2.9	138	5.1

（注）包括利益 2025年3月期中間期 53百万円（△61.4%） 2024年3月期中間期 138百万円（5.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	28.53	28.48
2024年3月期中間期	74.89	70.12

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	3,703	1,194	32.3
2024年3月期	3,299	1,123	34.1

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 1,194百万円 2024年3月期 1,123百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00			
2025年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,931	△9.8	158	△35.8	156	△35.0	102	△40.3	54.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	1,878,700株	2024年3月期	1,857,800株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	83株	2024年3月期	83株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	1,870,298株	2024年3月期中間期	1,843,780株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

（決算補足説明資料の入手方法）

- ・決算説明補足資料は、決算短信の発表と同日に当社ウェブサイトに掲載しております。また、2024年11月15日（金）に投資家及びアナリスト向けに同資料を用いた決算説明会の開催を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結貸借対照表関係) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、物価上昇の影響を受けつつも、個人消費は緩やかに増加しております。また、当社グループが取り扱うペットフードやペット用品は、犬猫の日常生活に必要な消費財であります。

当社グループが属するペット業界におきましては、犬の飼育頭数が減少傾向、猫の飼育頭数は微増傾向であることに加えて、原材料価格の高騰や急激な円安に伴う価格改定が頻繁に行われており、物量の大幅な拡大は見られておりません。一方で、健康志向の高まりによって高付加価値商品に対する飼い主の需要が増加しており、ペット市場の中でもヘルスケアの分野は着実に拡大しております。

また、飼育頭数が減少する中でも、医療技術の進歩や健康志向の高まりなどペットに対する意識が変化しており、ペットの平均寿命が長くなると同時に、1頭当たりのペット関連年間支出額も増加傾向となっており、「ペット関連支出の増加」及び「犬猫の平均寿命の伸長」により、ペットヘルスケア市場は今後も堅調に推移していくことが予想されます。

このような状況の中、当社グループは「ハッピーペットライフ・ハッピーワールドへペットライフを幸せに・世の中を幸せに」という当社のスローガンを実現すべく事業に取り組んでまいりました。

当社グループは、「D2Cシフト」を中期成長戦略として掲げており、ナショナルブランドを主体とした事業構造からD2Cブランドを主体とした事業構造にシフトしていくことを目指しております。

当中間連結会計期間については、ノミ・マダニ駆除薬及び食事療法食に関するD2Cブランドのエントリーモデルを上市、各オンラインモールでD2Cブランドの専門店を新規出店、D2Cブランドの成長に向けた広告販促投資等の施策を実施しました。その結果、**D2Cブランド製品の売上高は767,323千円(前中間連結会計期間比5.7%増)**となり、ブランド売上高合計に占める**D2Cブランドの売上高比率は16.4%**まで拡大しております(前中間連結会計期間は13.9%)。一方、ナショナルブランド商品売上高は、ナショナルブランドメーカーの商流変更の影響等により減少しました。

これらの結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高4,536,364千円(前中間連結会計期間比10.2%減)、営業利益90,021千円(前中間連結会計期間比55.2%減)、経常利益84,795千円(前中間連結会計期間比57.1%減)、親会社株主に帰属する中間純利益53,360千円(前中間連結会計期間比61.4%減)となりました。

なお、当社グループは、ペットヘルスケア事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

また、自社オンラインサイトと他社オンラインモール等別の売上高、自社オンラインサイト内の都度購入及び定期購入の売上高は以下の通りとなります。

・ 自社オンラインサイトと他社オンラインモール等別の売上高

(単位：千円)

販売経路別	第20期 中間連結 会計期間	第21期 中間連結 会計期間	増減
自社オンラインサイト	1,731,309	1,568,836	△162,473
他社オンラインモール等	3,320,967	2,967,528	△353,439
合計	5,052,276	4,536,364	△515,912

・ 自社オンラインサイト内の都度購入及び定期購入の売上高

(単位：千円)

購入形態別	第20期 中間連結 会計期間	第21期 中間連結 会計期間	増減
都度購入	750,212	647,859	△102,352
定期購入	981,096	920,976	△60,120
自社オンラインサイト合計	1,731,309	1,568,836	△162,473

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当中間連結会計期間末における資産合計額は、前連結会計年度末と比較して、404,305千円増加し、3,703,834千円となりました。これは主に、商品が470,555千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における負債合計額は、前連結会計年度末と比較して、333,157千円増加し、2,509,128千円となりました。これは主に、買掛金が371,533千円減少した一方で、短期借入金797,176千円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計額は、前連結会計年度末と比較して、71,147千円増加し、1,194,706千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益53,360千円を計上したことによるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末と比べ36,220千円減少し、865,212千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、744,934千円の支出となりました。これは主に、増加要因として、税金等調整前中間純利益の計上84,795千円があった一方で、減少要因として、棚卸資産の増加額467,408千円及び仕入債務の減少額371,533千円があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、37,230千円の支出となりました。これは主に、減少要因として、その他の増減34,804千円があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、745,944千円の収入となりました。これは主に、減少要因として、長期借入金の返済による支出63,310千円があった一方で、増加要因として、短期借入金の増加額797,176千円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間までの実績と第3四半期以降は当社グループが合理的と判断する一定の条件に基づいた目標数値の合計となっております。2024年9月6日に公表しました「ロイヤルカナンジャパン合同会社食事療法食ブランドに関する商流変更のお知らせ」に記載の通り、一部商品の取扱が終了となるため、ナショナルブランド商品の売上高は減少する見込みです。

一方、D2Cブランドを主体とした事業構造にシフトしていくために、品揃え拡充、販売チャネルの拡大、広告投資をさらに加速することで、D2Cブランド製品のシェア拡大を目指してまいります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	901,433	865,212
売掛金	494,822	468,603
商品	1,601,931	2,072,486
貯蔵品	3,957	810
未収入金	199,589	143,278
その他	35,519	56,420
流動資産合計	3,237,253	3,606,813
固定資産		
有形固定資産		
建物	52,149	52,149
車両運搬具	5,261	5,728
工具、器具及び備品	73,303	74,482
リース資産	3,428	3,428
減価償却累計額	△107,996	△112,884
有形固定資産合計	26,146	22,904
無形固定資産		
ソフトウェア	923	139
その他	50	41
無形固定資産合計	973	180
投資その他の資産		
繰延税金資産	13,383	17,653
その他	21,771	56,282
投資その他の資産合計	35,155	73,936
固定資産合計	62,275	97,021
資産合計	3,299,529	3,703,834

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,079,432	707,898
短期借入金	699,840	1,497,016
1年内返済予定の長期借入金	63,310	—
未払金	186,923	168,779
未払法人税等	25,329	42,720
賞与引当金	20,235	13,960
その他	72,878	50,942
流動負債合計	2,147,949	2,481,316
固定負債		
資産除去債務	27,811	27,811
その他	210	—
固定負債合計	28,021	27,811
負債合計	2,175,970	2,509,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,357	460,250
資本剰余金	408,357	417,250
利益剰余金	263,937	317,298
自己株式	△93	△93
株主資本合計	1,123,558	1,194,706
純資産合計	1,123,558	1,194,706
負債純資産合計	3,299,529	3,703,834

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	5,052,276	4,536,364
売上原価	3,576,845	3,229,641
売上総利益	1,475,431	1,306,723
販売費及び一般管理費	1,274,532	1,216,702
営業利益	200,899	90,021
営業外収益		
受取利息	5	89
受取賃貸料	11,848	11,848
その他	380	1,317
営業外収益合計	12,233	13,255
営業外費用		
支払利息	3,895	5,789
支払賃料	11,434	11,434
その他	372	1,256
営業外費用合計	15,702	18,480
経常利益	197,430	84,795
税金等調整前中間純利益	197,430	84,795
法人税、住民税及び事業税	49,950	35,703
法人税等調整額	9,394	△4,269
法人税等合計	59,345	31,434
中間純利益	138,084	53,360
親会社株主に帰属する中間純利益	138,084	53,360

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	138,084	53,360
その他の包括利益	—	—
中間包括利益	138,084	53,360
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	138,084	53,360

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	197,430	84,795
減価償却費	7,455	5,092
受取利息	△5	△89
支払利息	3,895	5,789
売上債権の増減額(△は増加)	33,485	26,218
棚卸資産の増減額(△は増加)	22,499	△467,408
仕入債務の増減額(△は減少)	127,897	△371,533
未払金の増減額(△は減少)	△60,400	△17,499
賞与引当金の増減額(△は減少)	△34,152	△6,275
その他	△55,175	18,335
小計	242,930	△722,573
利息の受取額	5	89
利息の支払額	△3,797	△6,576
法人税等の支払額	△67,360	△15,873
営業活動によるキャッシュ・フロー	171,777	△744,934
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△554	△2,426
その他	—	△34,804
投資活動によるキャッシュ・フロー	△554	△37,230
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	128,348	797,176
長期借入金の返済による支出	△79,986	△63,310
リース債務の返済による支出	△354	△241
株式の発行による収入	—	12,320
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,007	745,944
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	219,231	△36,220
現金及び現金同等物の期首残高	844,062	901,433
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,063,293	865,212

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表関係)

当社は運転資金の効率的な調達を行うため、取引金融機関4行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当中間連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
当座貸越極度額の総額	2,000,000千円	2,300,000千円
借入実行残高	699,840 "	1,297,016 "
差 引	1,300,160千円	1,002,984千円

(セグメント情報等)

該当事項はありません。